

体育指導委員が

スポーツ推進委員に名称変更

自治活動応援課 ☎84-0315

昭和36年に制定されたスポーツ振興法は、制定から50年が経過し、社会状況の変化を踏まえさらなるスポーツ推進のための法律として全部改正され、昨年の8月にスポーツ基本法が施行されました。このスポーツ基本法の施行により、これまで皆さんに「たいし」の名前で長く親しまれてきた「体育指導委員」の名称が、「スポーツ推進委員」に変更されました。

スポーツ推進委員の役割と主な事業



ニュースポーツ体験教室の様子

- ・スポーツの実技指導
- ・スポーツ活動の促進のために組織の育成
- ・スポーツに関する行事又は事業への協力
- ・スポーツについての理解の促進
- ・スポーツの推進のための事業を実施する場合の連絡調整及びスポーツに関する指導や助言
- 体力運動能力調査（10月）
- かいせいスポレクフェスティバル2012（10月）
- 世代間交流パークゴルフ大会（11月）
- 第47回町内駅伝競走大会（12月）
- ニュースポーツ体験教室（1・2月）

森山 勝彦（会長・河原町）
スポーツ推進委員として、体を動かすことの楽しさ、爽快感を、町民の皆さんと一緒に味わっていただけらと思っています。

ニュースポーツ体験教室等、町民の方々と接する機会がありますのでスポーツに親しみ健康増進に貢献できたと思っています。

西海 孝子（金井島）
皆さんと一緒に気軽に楽しく、体を動かすことの心地良さを伝えていけたらと思っています。

松下 彰（宮台）
だれでも気軽にゲーム感覚で参加できるニュースポーツを用意しています。心地良い汗、すばらしい笑顔が健康増進や家族、仲間との絆をも深められるよう、これからも活動していきたいと思っています。

川村 寿夫（中家村）
多くの方が気軽にスポーツに親しんで、「やって楽しい。見て楽しい。」をテーマに、自らも楽しんで、心身ともに健康作りのお役に立てるように、今後もがんばって活動していきたいと思っています。

沖村 千秋（上島）
委員になって10年ですが、初心を忘れずに明るく楽しくをモットーにがんばっています。地域の方々と触れ合いが、楽しく続けてこられた理由の一つだと思っています。



スポーツ推進委員の皆さん

大津 稔（上延沢）
地域の方々が「気軽に」「楽しく」健康づくりができるように、スポーツの普及活動に努めたいと思います。

高橋 一美（田中）
今年で委員になって7年目、色々な経験を生かし、活動を通じてさらに多くの方々に「スポーツの楽しさ」をお伝えできればと思っています。

中野 浩一（上島）
スポーツ推進委員となり、スポーツを通じて地域の皆さんと一緒に、体力増進、健康維持に努めてまいりたいと思います。私自身少々メタボではございますが、趣味はソフトボールをしてお身体を動かすことが大好きです。

金子 智彦（牛島）
今年度からスポーツ推進委員として活動させていただきました。まだ、右も左もわかりませんが、諸先輩方にご指導いただき、がんばっていくつもりです。スポーツを通じて、町民の皆さんと一緒に楽しく過ごせれば、と思っています。

星野 弘幸（牛島）

スポーツ推進委員（旧体指）になりはや10年。持つて生まれたノリの良さを生かし地域の皆さんと一緒にしゃぎ回っています。今後も皆さんに楽しんでいただけるイベントを企画していきたいと思っています。

子育てポイント

97

Q 手づかみ食べをさせた方がいいのでしょうか？

A だいたい9か月ころになると、子どもは食べ物を自分の手でつかんで食べようとすると意欲が芽生えてきます。

同時に、自分の目で見た物を手でつかみ、堅さを感じる、それを前歯でかじり取る、口の中でモグモグ、ゴックンする等、加減を調整する力もついてきます。

ですから、この時期に手づかみ食べを経験することは、とてもたいせつなことなのです。

始める前から、悩むより、子どものできそうなものから与えて練習してみよう。そして、汚れてもいい服装にする、床に新聞紙を敷く、

手づかみ食べしやすい形にするなど、工夫して成長を手助けしていきましょう。

支援センターでは、年間を通してさまざまな食育活動を行っています。また、赤ちゃんからの「子育てサロン」も行っていますので育児に関する相談や子育ての交流の場としてご利用いただいています。お気軽にお問合せください。

開成町子育て支援センター

☎82-1222

皆

さんが、中学校時代を振り返ったとき、いちゃんの思い出として心に残っていることはどんなことですか。学校生活の中で最も多くの時間を費やしているのは、まぎれもなく授業の時間です。でも、それがいちばんの思い出だという人はほとんどいませんよね。この3月に文命中学校を巣立った卒業生は各学級で卒業記念文集を作りました。そのなかで最も多くの生徒が記載した内容はもちろん授業のことではありません。ダントツの一位は学校行事のことで、文化祭、修学旅行、体育祭の順に多かったです。次に多かったのは行事への取り組みも含めた学級内での担任や級友との交流のことで、より絆が強まったことへの喜びの文章でした。私たち教員にとつて最も大事にしながらはならないのももちろん授業です。わかる授業の実践を通してすべての生徒に確かな学力をつけること、それが教員の本務であることはいまでもありません。

中

学校は、今年度から新指導要領の全面実施と



文命中学校総括教諭 小関 満

なり、授業時間が年間35時間増加します。学力向上には必要なことなのでしょうが、あわただしい学校現場からさらにゆとりがなくなるのには目に見えています。私が心配しているのは授業時間増のしわ寄せが、生徒が楽しみにしている行事に及ぶことです。年間計画の中から体育祭や文化祭

がなくなっているわけではありません。大事なものは当日までの準備と練習で、その時間を確保しにくくなっていることです。文集につづられている体育祭や文化祭の中心的中身は、体育祭では長縄跳び、文化祭では合唱コンクールのことです。それぞれの学級が優勝や金賞をめざして、時には仲間や担任とぶつかりなが

らも練習や準備を通して心を通わせ、絆を強めて本番当日を迎えます。そして、それまでの練習の成果を団結してぶつけたあとはどの学級もすがすがしい汗と涙、涙です。この感動は行事の当日だけではありません。味わうことができます。それまでの苦労があったからこそのものであります。学力向上の大義の前に学校生活から潤いがなくなることがないよう工夫が求められると思います。ちなみに今年の体育祭は5月19日の土曜日です。多くの町民の皆さんに見に来ていただけたらとても励みになりますのでぜひ、ご参観ください。



▲体育祭でいちばん熱が入る種目・長縄飛び